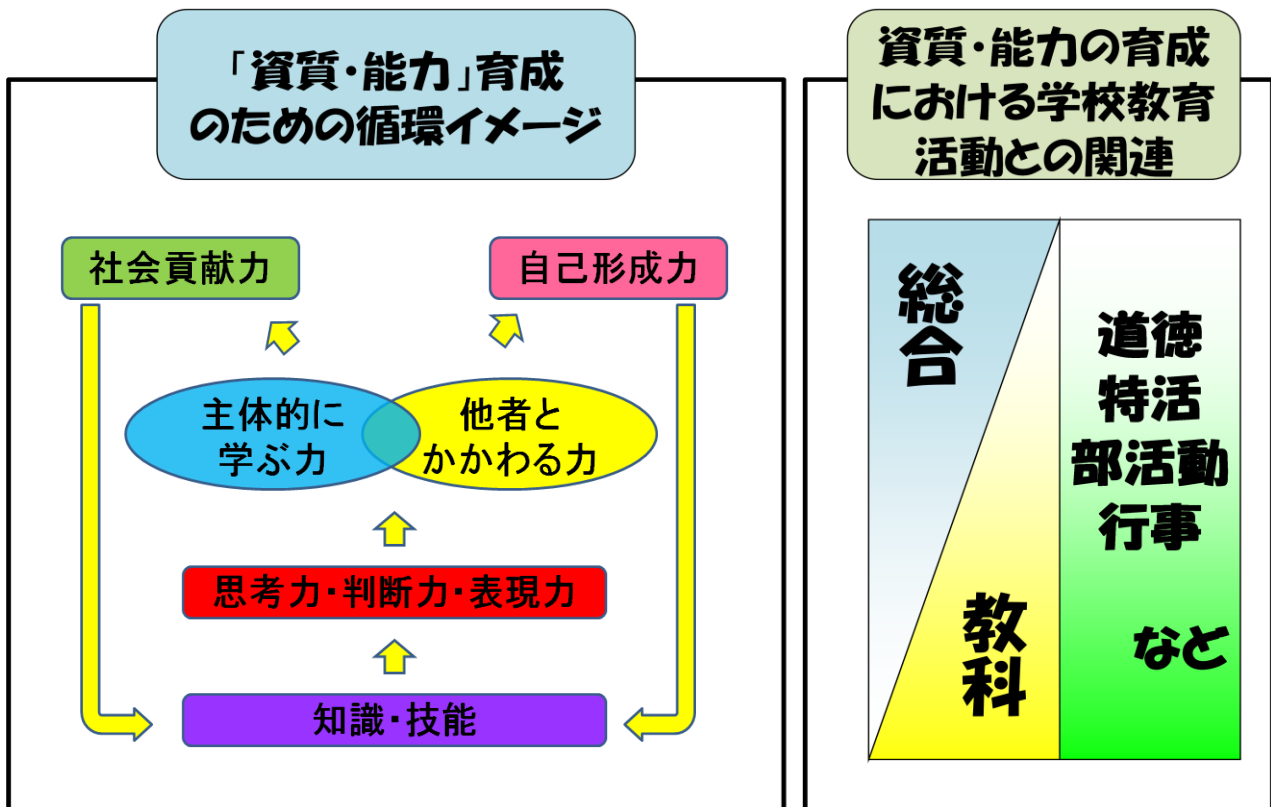


平成29年度 本校の育成を目指す資質・能力の構成イメージ



《このような資質・能力を設定した理由》

主体性とは、自主性と違い、決まったことを自ら進んでやればよいというものではありません。自ら課題を見出し、その課題解決のための方策を考え、自らの判断・責任を持って行動することです。本校の生徒は、自主性を身に付けた生徒は多くいますが、主体性が十分に身に付いているとはまだ言えない現状があります。

そのため、本校では核となる資質・能力を「自ら考え学ぶ力（主体性）」と設定しました。

そしてこの力を高めるためにはどのような要素が必要であるかを考えました。それには、十分な「知識・技能」とそれを使えるだけの「思考力・判断力・表現力」が重要な要素であると考えました。本校では、「知識・技能」と「思考力・判断力・表現力」において特に身に付けさせたい力を4つ挙げています。

1つ目は、学習したことを自ら語れる力。2つ目は、根拠をもって正しい判断をする力。3つ目は、批判的な視点を持つ力。4つ目は、相手にわかるように伝える力。です。このような力を身に付けることで、課題を見だし解決に向けて自ら行動しようとする「主体的に学ぶ力」が高められるのではないかと考えます。

また、課題によっては、一人では解決できないような場面にも遭遇します。そうした時に重要なのは、他に協力を仰いだり、他者の考えから自らの考えを深めたり広げたりする力も必要ではないでしょうか。こういった「他者とかかわる力」も必要な要素であると考えます。

さらに、よりよい地域社会のために、何をすべきかを考え実行することのできる「社会貢献力」や深く自分を見つめ、より自律・自立した人間になろうとする「自己形成力」などの価値観・倫理観の涵養にもつなげていきたいと考えています。

そしてこれらの資質・能力の育成の好循環が生まれるようなカリキュラム作りを教科・総合的な学習の時間等を中心に行っていこうと考えております。